

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学DP	学科DP	学習成果
地方自治法	藤枝 律子	講義	2		1, 2, 3	1, 2, 5	2, 3, 4
授業概要 授業目的	今日の社会において、行政の果たす役割はますます見逃すことができなくなっている。特に身近な行政機関である地方自治体は、我々の生活に深く関わっており、その果たす役割も大きい。現在、国と地方のあり方や役割分担のあり方を問う「地方分権」を巡り、様々な改革の動きが見られている。また、人口減少期を見据えて、広域化・減量化の動きも活発になってきている。その中で、日本の地方自治は、まさに転換期を迎えていると言えよう。そこで、ここでは、憲法における地方自治保障の理念、地方自治の沿革、現行法制の内容、最近の改革の動きについて学ぶ。						
到達目標	現行の地方自治法の内容・制度についての基本的知識と、これからの地方自治の行方・あり方について考えていくための法的思考力を身につけることを目標とする。						
回	学習内容						
1	地方自治とは何か						
2	地方自治の沿革と存在理由						
3	地方自治体と住民-地位と権利						
4	地方自治体と住民-外国人住民						
5	地方自治体の自治的組織-自治組織権						
6	地方自治体の自治的組織-議会の組織						
7	地方自治体の自治的組織-議会の権限						
8	地方自治体の自治的組織-執行機関の権限						
9	地方自治体の自治的組織-執行機関と議会						
10	地方自治体の自律的組織-地域運営組織・地域自治組織						
11	地方自治体の立法の意義						
12	地方自治体の自主条例制定権						
13	直接請求・住民投票制度						
14	住民監査請求・住民訴訟						
15	総復習と期末テスト						
予習内容 復習内容	予習: 事前に示す教科書・資料を読んでおく。 復習: 講義中に示した教科書の該当箇所・資料・判決文に目を通す。						
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、参考文献等は、初回講義時に提示をする。 ・『ポケット六法』等コンパクトなものでよいので六法を持ってくること。 						
成績評価	<ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト70%、および平常点(出席時に提出するレポート)30%で評価する。 						
実務経験							
その他 特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・講義時に、レジュメ、資料を配布する。 ・憲法とあわせての受講計画が望ましい。 						